

# 食育について

齋藤 隆議員

・質問 食育基本法が施行されたことを踏まえ、次の点について伺いたい。

児童・生徒の朝食摂取状況と対策について

家族揃って食事をする児童・生徒の状況について

市町村が策定に努めることとされている食育推進計画へ

の認識と考え方について

・答弁（教育次長）

本市の小学生で朝食を毎日食べている割合は八十九・五％、中学生で八十・二％となっており、全国平均に比べてやや高い率になっている。朝食を食べない理由には、経済的理由やネグレクト（養

育放棄）などの理由によるもののほか、生活が不規則なため食べられないという理由によるものもあるため、個々のケースに応じて、継続的に指導や働きかけを行っているところである。

家族揃って食事をしない児童・生徒の割合は、全国的に年々高くなっており、本市においても同様の傾向である。

食生活は、子どもの身体的発達だけでなく、精神や社会性の発達など心の成長に大きな影響を及ぼすものであり、

非行問題の解決など大きな効果を期待できるものと考えており、家族揃って食事をすることを学校、地域社会が積極的に支援していくことが重要であると認識している。

食育基本法では、一人ひとりが食生活を見つめ直し、家庭、学校、保育所、地域などあらゆる分野において、食育活動に参加、協力することが期待されている。

食育推進のための推進計画を策定するに当たっては、養護教諭、保健主事、学校栄養

職員等が専門性を生かし、積極的に参画、貢献していくことが重要であると考えている。

## その他の質問

・環境教育について



# 耐震対策について

蜂須 直巳議員

・質問 地震による二次災害を防ぐために、市庁舎や小・中学校における窓ガラス飛散防止対策を計画的に実施すべきと考えるが、見解を伺いたい。

・答弁（教育次長）

窓ガラスの飛散防止対策としては、破損しにくい強化ガ

ラスを使用する方法、破損しても飛散しない網入りガラスや合わせ板ガラスを使用する方法、ガラス面に飛散防止フィルムを使用する方法などがある。

現在、市内小・中学校の校舎二十六棟のうち八棟、体育館十四棟のうち一棟が強化ガ

ラスを使用しているが、これは耐震補強工事や改築の際に強化ガラスに取り替えてきたためである。

また、市庁舎の窓ガラスは、熱線吸収ガラスや熱線反射ガラスを使用しており、耐震仕様のガラスにはなっていないが、西玄関などのガラスは通常より厚いガラスを使用しているため割れにくい構造になっている。

小・中学校校舎は、すべて耐震化していることに加えて、鉄筋コンクリート構造である

ことから、地震の際にゆがみが少なく、窓ガラスが割れにくい構造になっているが、体育館は鉄骨構造であることから、校舎と比較して地震の際



岩瀬小学校校舎、強化ガラスを使用している

のゆがみが大きく、窓ガラスが割れやすい構造になっている。小・中学校の体育館は災害時の避難場所になっていることから、耐震補強工事の早期実施や窓ガラスの飛散防止対策が必要であり、今後、コストや耐久性、既存の窓枠への適応性など、検討していきたい。

## その他の質問

・内水害対策について  
・アスベストを含む建築廃材の監視について